

## 第1回 愛知県海岸保全検討基本計画検討委員会技術部会 議事要旨

日時：平成26年10月24日（金）16：00～17：00

場所：TKP 名古屋駅カンファレンスセンター

1. 開会
2. 事務局挨拶
3. 委員紹介
4. 海岸保全基本計画検討委員会技術部会の設立について
5. 海岸保全基本計画検討委員会技術部会

(議題)

○設計津波の水位の設定について

### 6. 質疑

○地域海岸の設定について

(委員質問)

- ・24の地域海岸に区分し、地域海岸を細分化して設計津波水位を設定しているが、これは愛知県の海岸線は様々な方向に向き、さらに港湾施設や漁港施設が点在するなど複雑な海岸形状となっていることから、24の地域海岸の中で、さらに細分化が必要となったのか。

(事務局回答)

- ・そのとおりである。

○設計津波の対象津波群の設定について

(委員質問)

- ・地域海岸ごとに作成した設計津波の対象波群の選定図において、対象津波毎に津波高がプロットされているが、これは、地域海岸内のある1地点の値の比較か、もしくは地域海岸内の最大値のプロットか。
- ・対象波群の選定図には過去の津波痕跡も記載してあるが、三河港の選定図を見ると、津波痕跡値が極端に高くなっている値が記載してある。しかしながら、対象波群の妥当性を検討する中では、この値を考慮していないようだが、これは、信頼度がCDと低い値であることを踏まえ、特異な値として除外したのか。

(事務局回答)

- ・プロットの値は、地域海岸内の最大値である。また、最大クラスの津波や津波痕跡高との比較を行い波群としての妥当性を確認する必要があるため、このグラフの中の設計津波の津波水位は、海岸堤防を無限壁としてせり上がり高を考慮した、いわゆる設計津波水位ではなく、津波が堤防を乗り越えた状態での津波高さとしている。

- ・三河港内における極端に高い痕跡データは、信頼度が低いことから特異な値として除外している。

#### ○背後地が崖地の箇所の取り扱いについて

##### (委員質問)

- ・遠州灘沿岸部などにおいて、海岸線の直背後に急峻な崖地が存在し、崖地背後への浸水のおそれがない区間については、設計津波水位を設定していないとのことであるが、崖地背後の地盤が十分に高いことを確認しているか。

##### (事務局回答)

- ・確認している。

##### (委員関連質問)

- ・遠州灘東には、崖地背後に要援護者施設があるが、その高さも確認しているか。

##### (事務局回答)

- ・当該施設の高さを確認して、津波が届かないことを確認している。

#### ○設計津波水位設定の一覧表について

##### (委員意見)

- ・一覧表の中で、日間賀島の現況堤防高が空欄となっているが、この区間には防護施設がないのか。
- ・現況堤防高が、大区分の24地域海岸毎で最小値、最大値が記載されている。設計津波の水位と堤防高を直接比較できるよう、個々の設計津波水位毎に記載すべきでないか。

##### (委員関連意見)

- ・この先、高潮との比較も行う必要があることから、可能であれば、個別の区間毎に高さを比較できるようになっているとわかりやすい。

##### (事務局回答)

- ・今後、検討を進めていく上で、高潮との比較も必要となってくるので、現況堤防高と合わせて表現方法について検討する。
- ・日間賀島の現況堤防高については、記載漏れであるので一覧表に記載するよう修正する。

以上